

麻酔科

【スタッフ】

平田 孝夫 大野 宏幸 長畑 佐和子

【概要】

人の動きとしては、佐藤医師が 27 年 3 月末で退職し、27 年 4 月より大野医師が山口大学より当院に赴任しました。

平成 27 年 1 月から続く麻酔科マンパワー不足を手術室スタッフと協力し「手術室で働く全ての人が、自信を持って、誇らしく働く環境、そしてお互いを尊重し、助け合いの精神」をモットーに手術室運営を行いました。また、手術室の効率的利用のため外来、病棟スタッフの理解と協力により手術室への患者搬送をスムーズに行うことで、予定手術の約 80% が 17 時までに入室することができました。人員面では山口大学麻酔科、九州歯科大学からの歯科麻酔研修、加えて非常勤麻酔専門医の応援態勢を確立しました。

「患者一人ひとりに安全で優しい、安心できる麻酔の提供」を心がけるといふ当科の目標のもと個々の症例に対し、麻酔方法、周術期管理について検討しております。

【活動内容】麻酔科管理症例 2016 年 1 月～12 月

全身麻酔（吸入）	777 例
全身麻酔（完全静脈麻酔）	356 例
全身麻酔（吸入）＋硬膜外麻酔	615 例
全身麻酔（静脈）＋硬膜外麻酔	64 例
硬膜外＋脊椎麻酔	8 例
脊椎くも膜下麻酔	10 例
計	1,830 例

（前年 1,871 例）

教育・指導面では、スーパーローテーション研修の村田、川畑、北原、久保山医師に対し、それぞれ 2 ヶ月の研修指導をしました。

また、救急救命士による気管挿管実習（1 名）30 症例を行いました。

【業績集】

<発表>

開催年月日	演題名	演者	共同演者	学会名	場所
2016.5.26	開腹術中に生じた卵円孔開存による右左シャントで酸素化障害をきたした1例	平田孝夫	佐藤尚子 藤原義樹	日本麻酔科学会 第63回学術集会	福岡マリンメッセ
2016.9.10	関節リウマチ患者の輪状披裂関節炎により声門狭窄を来し気道確保に難渋した1例	平田孝夫	藤原義樹 大野宏幸 佐藤尚子	日本麻酔科学会 中国・四国支部 第53回学術集会	岡山
2017.3.10	肺胞出血に感染性心内膜炎を合併した全身性エリテマトーデス患者に長期の集学的治療を行い救命しえた1例	平田孝夫	保村宏樹 石田清子	第44回日本集中治療医学会学術集会	ロイトン札幌